

令和6年度 研究授業
国語科 学習指導案

令和6年10月30日(水)・3校時

【授業者】松見 奈々子

【単元】『枕草子』(三省堂 現代の国語2)

【学年・組】2年2組

【場所】2年2組教室

三原市立第五中学校

2年2組 国語科学習指導案

【指導者】 松見 奈々子 【単元名】 「私の枕草子」を書こう

単元観について

本単元は、中学校学習指導要領国語（平成29年）の第2学年「B 書くこと」の指導事項「ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めることができる。」「ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。」「エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「ア 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと」を受けて設定したものである。

本教材「枕草子」は、古典の三大随筆の中の一つに挙げられ、筆者独自の視点で見聞きしたことや経験したこと、感じたことや考えたことなどを書き記している。人が気にとめないような素材に目を向けて、筆者独自の「をかし」を発見している点や、対比を用いて鮮やかに表現することで読者に共感を持たせる書き方をしている点は、現代を生きる私達にとっても、表現の参考となる。

以上のことから、古典の文章に親しみながら文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解し、活用する力を育成するのにふさわしい単元であると考えます。

生徒観について

生徒は1年次に「竹取物語」を学習し、歴史的仮名遣いに注意した音読や、現代語訳を参考にしながら内容を理解することができている。また、小学校で「枕草子」序段の暗唱に取り組んでおり、現在も語句を覚えていた生徒が多い。しかし、古典作品の学習に苦手意識を持っている生徒も少なくない。

本単元について事前に実施したアンケートでは、「古典の学習が好きですか」の問いに対して肯定的な回答をした生徒は63%となった。一方で、「古典に表れたものの見方や考え方について、これまでに身につけてきた知識や様々な体験と関連付けて、自分の考えを持つことができましたか」という問いに対して肯定的な回答をした生徒が、28%となった。主な理由としては「昔のことだから」「内容が難しいから」といったものが挙げられた。

この結果から、古典作品は「昔のこと」としての知識に留まっており、古典の内容(登場人物の心情、ものの見方や考え方)と現代に生きる自分の経験や考えとの結び付け、そこから自分の考えを持つことについては十分ではないと考えられる。

指導観について

本単元では、古典作品を昔のものという認識で終わらせないために、生徒自身の体験と照らし合わせて考えたり、現代に通じたりするような活動を行う。そして、自分の考えを効果的に伝える力を育てるために、古典作品に表れた筆者の独自の視点や表現の工夫に興味をもたせる指導を行う。「私の枕草子」を書こう」を単元を貫く言語活動として設定した。

指導にあたっては、以下のことに留意する。

まず第1次で単元の見通しをもち、生徒が得意分野とする音読を通して、古典の世界に親しみをもたせる。そこで、授業で毎回音読練習を行い、古文の響きやリズムを味わう活動を行う。そのうえで、筆者の物事の捉え方を読み取り、現代の自分たちと同じ点や異なる点を考えることで、古典に対する興味・関心を高めていきたい。口語訳を行う際、古語や文法事項は読み取りに関わる重要部分に絞って確認することで、「難しい」という印象を過度に与えないように留意する。

「私の枕草子」を書く活動においては、清少納言の文章構成の特徴を基に作成した評価の観点を、生徒に提示する。また、生徒に評価の観点を意識させるために、自分が作った文章の中で、評価の観点にあたる部分に線を引かせる。

単元の目標

- (1) 「枕草子」の特徴を生かして音読や暗唱をするなどして、古典の世界に親しむことができる。〔知識及び技能〕(3) ア
- (2) 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1) ウ
- (3) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1) オ
- (4) 古典を身近なものとして捉え、作品に表れたものの見方や考え方に興味をもち、読み手にわかりやすい文章を書こうと工夫することができる。〔学びに向かう力、人間性等〕

指導と評価の計画

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①歴史的仮名遣いを正しく理解している。 ②「枕草子」の特徴を生かして音読するなどして、古典の世界に親しむことができている。 ③現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方・考え方を理解している。	①「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ②四季の魅力が伝わる文章にするために、具体例を入れるなどの工夫をすることができる。	①古典に表れているものの見方や考え方に触れ、人生のよりよい生き方や考え方について、自分の知識や体験と関連づけて書こうとしている。

(2) 単元指導計画 (全5時間)

次	学習内容	時間	評価規準	評価の観点			評価の方法
				知 技	思 判 表	主 学 態	
1	○「枕草子」成立年代や背景を確認する。 ○作品を様々な方法で音読する。 1.教師の序段部分の範読を聞き、歴史的仮名遣いに印をつける。 2.教師の後について一斉に音読をする。 3.原文を区切って、ペア読みをする。 4.暗唱練習シートを使い、	1	①歴史的仮名遣いを正しく捉えることができ、古文のリズムを感じるができる。 ((3) ア)	◎			・ワークシート ・振り返り ・期末試験 ・暗唱テスト

	個人で練習をする。						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>【単元を貫く問い】 私たちの身近にある「をかし」には何があるだろうか。</p> </div>							
2	○「枕草子」序段の大まかな内容を理解し、四季における筆者の視点や表現の工夫をつかむ。	1	②四季において、何に注目し、「をかし」と感じているのかを読み取っている。((3)イ)	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・振り返り ・期末試験
3	○「枕草子」(第145段)を読んで、筆者が「うつくし」と指摘するものを理解し、自分の感じ方と比べる。	1	②清少納言のものの見方や考え方に触れ表現の特徴や工夫点についてまとめている。((3)イ)	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・期末試験 ・振り返り
4 (本 時)	○清少納言になったつもりで四季の魅力を綴った文章を書く。 【ICT】	1	①経験を振り返り、季節を表す語彙・語句を想起することができる。(C(1)オ) ①「をかし」「あはれなり」「わろし」等の古語の意味の違いを理解し、表現に用いている。((3)ア)	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・振り返り
5	○イメージ写真と組み合わせた作品に仕上げ、発表する。 【ICT】	1	②自分の考えを、相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したり、写真と組み合わせたりして書いている。(B(1)ウ)		◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・Google スライド ・振り返り

本時の学習

(1) 本時の目標

「枕草子」を参考にして、四季の魅力を読み手に効果的に伝える文章を書くことができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 既習事項の確認をする。(前時の振り返りをする。) 【8分】		
○古典文学年表クイズをする。 ○暗唱練習をする。	○既習している古典作品を中心に、書かれた時代を視覚的に理解させる。 ○4つの難易度を生徒に選ばせて、個人練習とペア練習をさせる。【4分】 ①歴史的仮名遣い・ルビ付き、全文あり ②ルビなし、全文あり ③ルビなし、空欄あり(少なめ) ④ルビなし、空欄あり(多め)	○歴史的仮名遣いに注意しながら、音読・暗唱練習をしている。(行動観察)
2 本時のめあてを確認し、課題を発見・共有する。 【2分】		
課題の設定 ○めあて・課題を書く。	○本時に使用するプリントを配布し、めあてを記入させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【めあて】 「私の枕草子」を書くことができる。 </div>		
3 本時の課題解決に向けて考える。 【37分】		
整理・分析 ○前時までの学習を振り返り、「枕草子」の序段の特徴や工夫点を確認する。	○独自の視点を読み手に納得させるために、清少納言の文章の工夫点を参考にさせ、意識をもたせる。 ○評価の観点を提示する。【ICT】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【評価の観点】 ①言い切りの文末 ②説得力を持たせる表現 ・「言うまでもない」 ・「○○さえ」「ましてや□□」 ③具体的な描写 ・五感(視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚) ・色彩表現 </div>	○清少納言のものの見方や考え方に触れ表現の特徴や工夫点についてまとめている。((3)イ) (ワークシート、発言)
創造・表現 ○「私の枕草子」を書く。 【ICT】	○現代の季節感を考えた「私の枕草子」を創作させる。 ・「枕草子」序段の特徴を意識しながら、創作させる。 ・評価の観点①～③について書けているか、線を引かせる。 ・季節感を表す言葉を考える際に、自分の体験	○「をかし」「あはれなり」「わろし」等の古語の意味の違いを理解し、表現に用いている。((3)ア) (ワークシート、発言) ○経験を振り返り、季節を表す語彙・語句を想起する

<p>ICTの活用① Google スライドに創作した文章を入力する。</p> <p>○清少納言になりきって書けているか、班でアドバイスをし合う。</p>	<p>や知識と絡めて書くことを確認させる。 【支援を要する生徒への手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの季節やテーマに絞って書かせる。 ・前時のワークシートを確認させる。 ・「をかし」「あはれなり」などを使って書かせる。 ・「きごさい歳時記」で、四季に関連するキーワードを検索させる。【ICT】 <p>ICTの活用② Google スライドのコメント機能を活用する。</p> <p>○評価の観点を意識させながら交流させる。</p>	<p>ことができる。(C (1) オ)</p> <p>A 基準：B 基準に加えて、五感や色彩を意識した表現ができている。</p> <p>B 基準：言い切りの文末になって、説得力を持たせる表現ができている。</p> <p>C 基準：B 基準が不十分</p> <p>○創作した文章を互いに読み合い、文章の構成や表現の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。(Google スライド、行動観察)</p>
---	--	--

4 本時の学習を振り返る。【3分】

<p>振り返り</p> <p>○振り返りを書く。</p>	<p>○R80を活用して、振り返りを行う。</p> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清少納言になりきるために、五感を活かした文章になるように意識をした。また、〇〇さんのように「〇〇〇」という文末にすると説得力が増すことが分かった。 ・創作した文章を班で交流することで、様々な四季の魅力を知ることができた。そして、今も昔も四季の移り変わりを楽しむ心は変わらないのだなと感じた。 <p>○次時の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は「私の枕草子」を完成させ、イメージ画像を添えて発表することを伝える。 	
-------------------------------------	--	--

(3) 板書計画

<p>P106 枕草子 めあて 「私の枕草子」を書くことができる。</p> <p>「枕草子」の特徴</p> <p>① 言い切りの文末</p> <p>② 説得力を持たせる表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言うまでもない」 ・「ましてや□□」 <p>③ 具体的な描写</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 五感 ・ 色彩表現
